

Luncheon Linguistics, 7/10/2024

2024（令和6）年7月10日

「日本語学会第168回大会 大会報告」

発表者：服部壮留（東京外国語大学大学院博士前期課程）

本発表では、日本語学日本語学会第168回大会の参加報告をした。今回の大会の概要、発表を3本、参加者の感想、次回の大会の概要を紹介した。

取り上げた発表は3本である。題目は、口頭発表B-1「発話連鎖効力をもつ終助詞「よ」「ね」に対する応答のエントロピーと自閉傾向の相関」、口頭発表C-2「琉球列島における遺伝系統樹と言語系統樹の比較に向けて一言語系統樹の客観的作成手法を検討する」、口頭発表C-4「現代日本語における「のこ」と示差的目的語表示」である。ここでは、発表の概要、前提知識、方法論、考察・会場での質問（、服部の感じたこと）をまとめ、要旨として述べた。

本大会の振り返りの総括として、発表者の方の感想を2つ紹介した。どちらの参加者にとっても、質問やコメント等や雰囲気が刺激になる良い機会だったとのことである。ポスター前での議論や発表後の意見交換・交流、懇親会での会話や議論や関わり合いも、今後の研究やモチベーションに繋がったと言う。これらは対面学会ならではの貴重な経験であったと仰っていた。